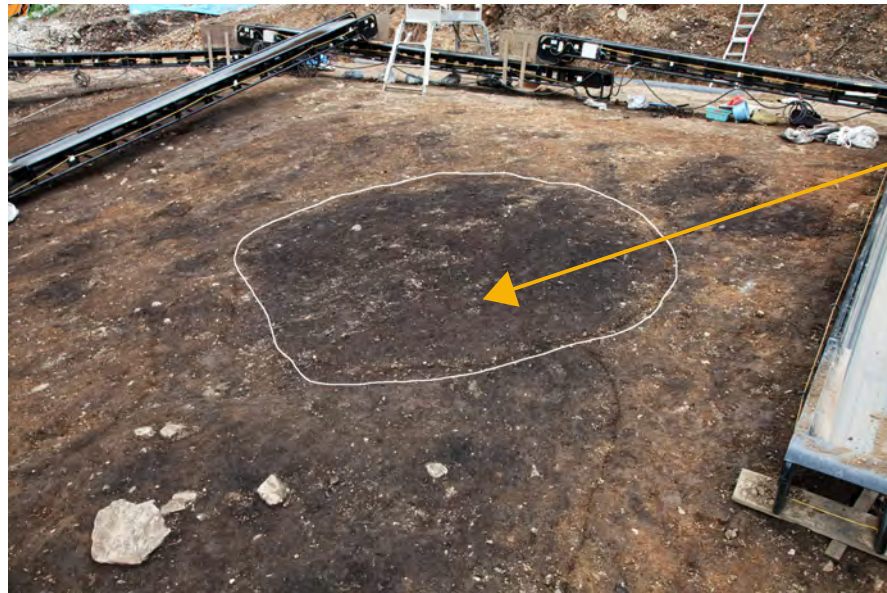




縄文時代前期の竪穴建物跡(111SI)
直径が3.5m程度の竪穴建物跡で、黒曜石や安山岩の破片も出土。



縄文時代前期の土器
豊田市足助町大麦田遺跡に類例有り



灰釉陶器(10世紀前半)



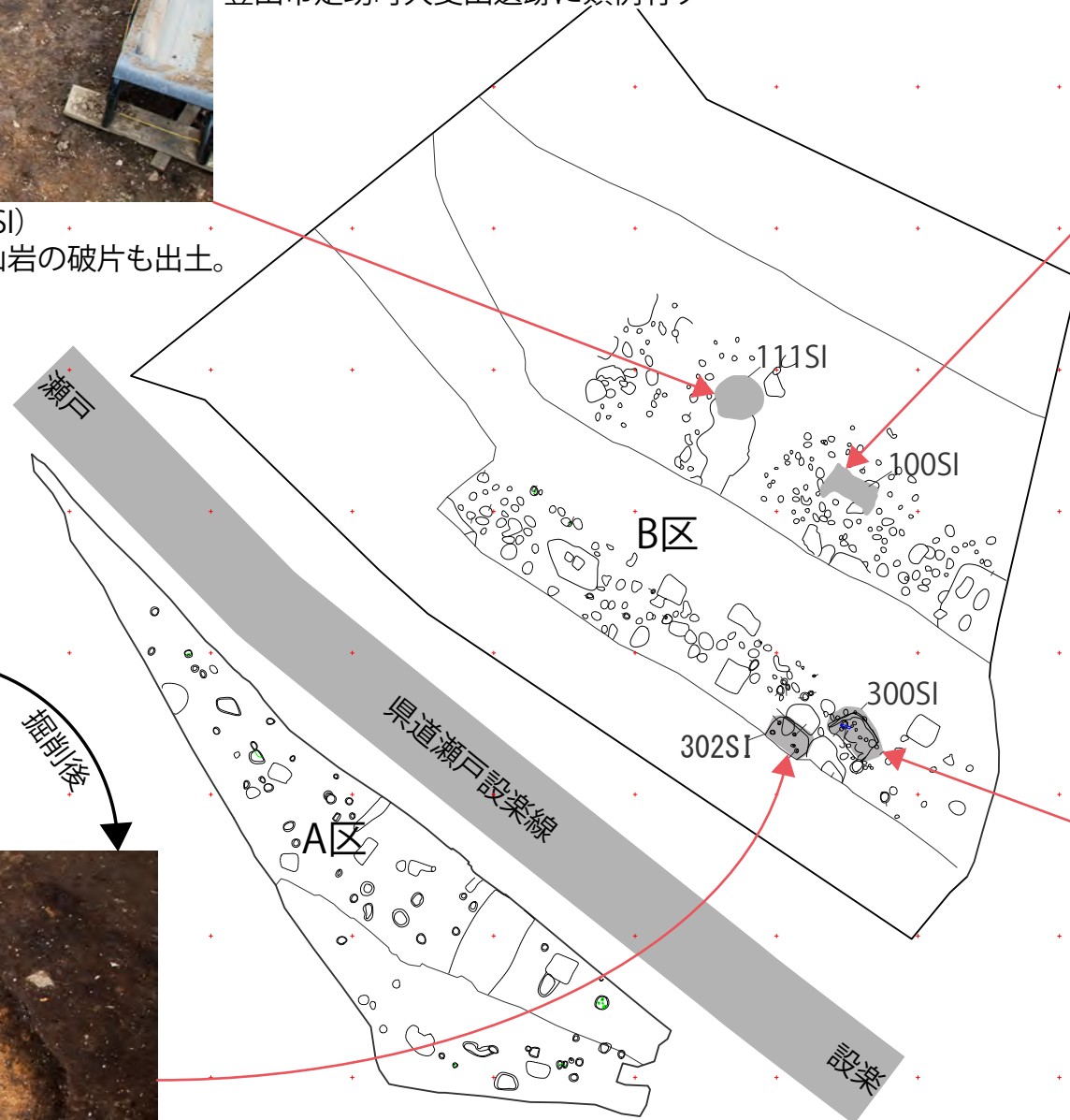
平安時代の竪穴状遺構(100SI)



平安時代の竪穴状遺構(302SI)検出状況



平安時代の竪穴状遺構(302SI)完掘状況
遺物は出土しませんでした、遺構の土の状態から平安時代と判断しました



胡桃窪遺跡全体図

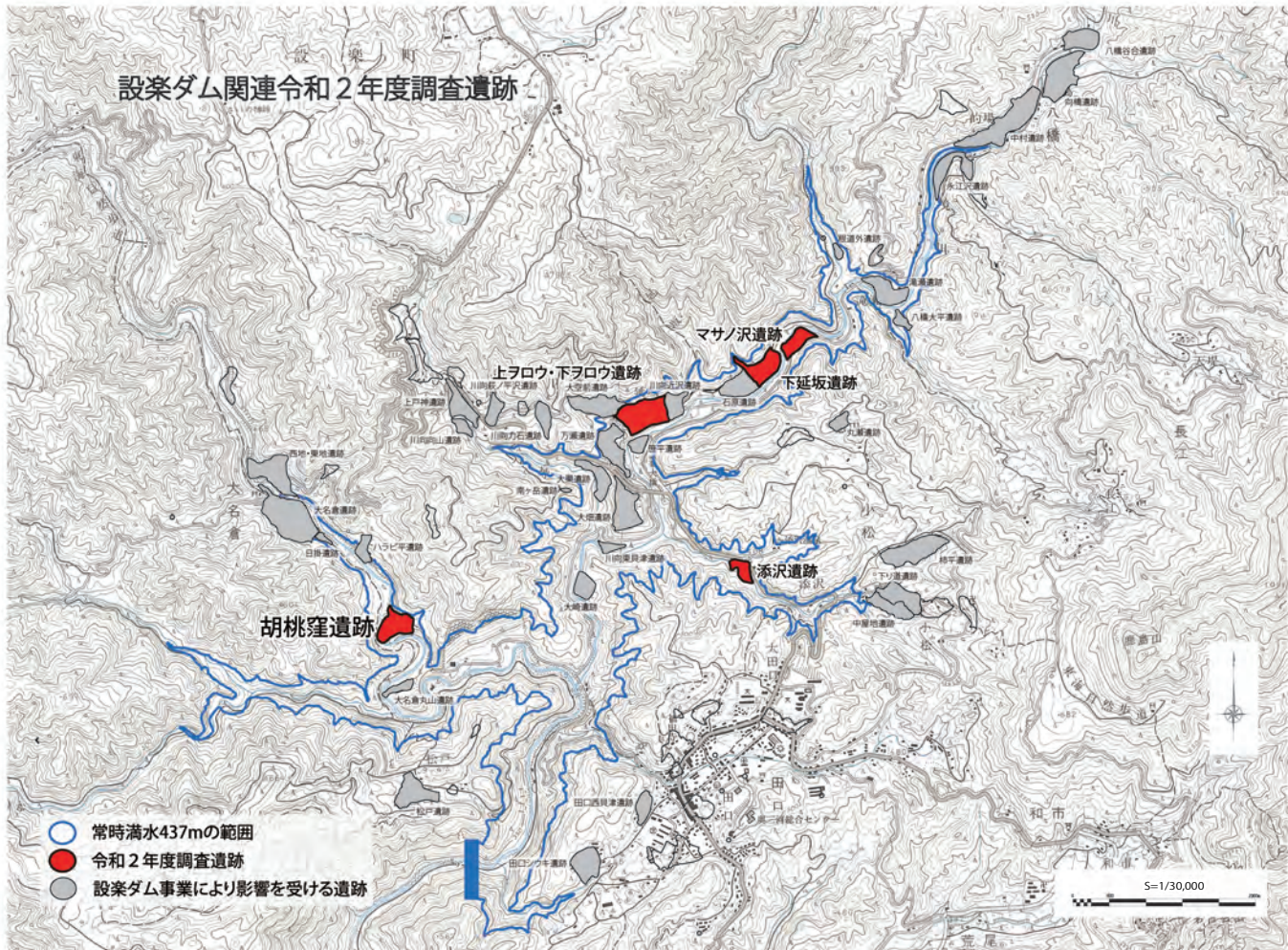


石鏃(溶結凝灰岩) 土器口縁部(縄文時代中期後半)



縄文時代中期の竪穴建物跡(300SI)
石囲炉が2基検出されており、建て替えが行われていました。

胡桃窪遺跡の位置



国土地理院発行 2万5千分の1地形図「田口」 H27.1.1刊行より作成

今年度調査中の他遺跡を紹介します(上の地図中赤色で示された遺跡)。

○上ヲロウ・下ヲロウ遺跡

今年度の調査で、設楽町内において弥生時代の集落跡が初めて見つかりました。この他にも縄文時代中期の遺物や江戸時代の柱穴列が現在までに見つかっております。可能であれば、地元説明会を今年度内に開催する予定です。

○マサノ沢遺跡

今年度は遺跡の範囲を確認する試掘調査を行い、いくつかの遺構と遺物を確認しました。来年以降の本格的な調査の基礎になります。既に調査は終了しました。説明会等は予定しておりません。

○下延坂遺跡

縄文時代晩期～弥生時代前期にかけての竪穴状遺構や、石器や土器等の様々な遺物・遺構が検出しております。説明会等は予定しておりませんが、インターネット上で視聴できるWeb説明会を行う予定です。

○添沢遺跡

添沢遺跡では、縄文時代早期の土器片や状態の良い磨製石斧等の他に、古代から中世の鍛冶の道具が出土しています。現地での説明会は予定しておりませんが、インターネット上で視聴できるWeb説明会を行う予定です。

令和2年度 胡桃窪遺跡地元説明会配布資料

編集配布 公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
HP <http://www.maibun.com/>

調査支援 国際文化財株式会社

令和2年9月19日 配布

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802 の 24
電話 (0567) 67-4163 【調査課】
Twitter https://twitter.com/aichi_maibun
Facebook <https://www.facebook.com/maibunaiichi>

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-3-4
ビック・ナインビル6F
電話(03) 6361-2455

胡桃窪遺跡

— 地元説明会配布資料 —

胡桃窪遺跡は豊川(寒狭川)の左岸、設楽町大名倉字胡桃窪・丸山に所在します。

この場所では、豊川が蛇行し左岸側(北側)に広い河川敷を形成し、北側にはそれに続く緩斜面が広がります。標高の高い場所からは、南側と東西に広い眺望を得ることのできる良好な立地です。

平成28年度には遺跡の範囲を確認する調査を行い、土器・石器・陶器が出土しました。この調査に基づいて今回の調査の範囲が決定され、県道設楽瀬戸線を挟んでA・B区2か所の調査区が設定されました。今回の発掘調査は令和2年6月より着手し、10月に終了する予定です。

遺構は、縄文時代前期(6000年前)の竪穴建物跡が1棟(111SI)、縄文時代中期(5000年前)の竪穴建物跡が1棟(300SI)、平安時代中期(1000年前)の竪穴状遺構が2棟(100SI、302SI)検出されました。

このうち、縄文時代前期の竪穴建物跡や、平安時代中期の竪穴状遺構は、設楽ダム建設に伴う発掘調査では、初めて良好な状態で検出されました。

出土遺物は、縄文時代の竪穴建物跡からは縄文土器(前期・中期)や石鏃、剥片などの石器、平安時代の竪穴状遺構からは、灰釉陶器(平安時代中期)、鉄片が見つかります。竪穴状遺構からは、焼土や炉跡が検出されていることから、鍛冶作業を行う場であったと思われます。

遺物の出土はほとんどが竪穴建物跡などの遺構に伴うものであり、遺構から離れた場所で出土する遺物は多くありません。このことから遺構の密度はそれほど高くはないことが想像できます。

縄文時代前期の人々は山間地を移動しながら、一時はこの場所に居を定め、生活を送りました。縄文時代中期後半にも同様に竪穴建物跡が築かれていることから、この場所の居住性がよかったのでしょう。

また、平安時代中期には、鍛冶を行う場所が設けられているものの、付近に大きな居住域は見つかっていないことから、山林資源の採取を行うグループに属した鍛冶技術者が、ここを作業場として用いつつ、グループの人々が用いる道具を修理する、などの日々の作業に勤しんでいた様子も想像できそうです。

